

YGU Sports Frontier

01



「YGU Sports Frontier」の発刊に寄せて

私たちは現在、ISS広報部に所属し、スポーツ科学部の広報に取り組んでいます。在学生の目線で学生生活の様子や競技スポーツに取り組む学生の様子を取材し、主にSNSを通して大学内外に発信しています。私たちの取り組みはISSのブランドを高めるということや、ISS生の学部に対する帰属意識を高めることには貢献できるという手応えを感じています。

一方で、YGUスポーツ全体をみると、広報対象が限られているという問題を感じました。例えば、競技スポーツで優秀な成績を残している学生はスポーツ科学部以外にも多くいますが、彼らに対する取材を行うことはできていませんでした。また、学内のスポーツ広報媒体を見渡すと、当然ながら競技スポーツに焦点を当てたものが多く、生涯スポーツの側面からとらえた情報は限られています。YGUブランドの向上のためには、広報対象と視点を拡大していくことが必要ではないかと感じました。

以上の動機からYGUスポーツブランドを総合的に向上させることを目的として、全学向けのスポーツ広報誌を作成・発行することに致しました。2020年東京オリンピックでは山梨学院大学OB・OG、在学生まで多くの選手が活躍されました。2020年東京オリンピック・パラリンピックを機にスポーツに関心を持つ方が増えることを期待しています。

タイトルの「YGU Sports Frontier」という言葉には、YGUスポーツを競技・生涯スポーツ両面の「最前線」にいる学生たちを見つけ出していくという意味と、取材を通してYGUスポーツの魅力を自分たちなりに「開拓」していくという2つの意味が込められています。

最後になりましたが、これまでの山梨学院大学に対するご高配に心から感謝いたしますとともに、この「YGU Sports Frontier」にお目を通していただき、忌憚ないご意見をいただければ幸いです。今後とも、山梨学院大学への温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

スポーツ科学部広報部 樋川 歩実



直撃！YGUスポーツインタビュー

山梨学院大学には17個の強化クラブが存在しています。チーム単位ではなく、選手個人の声を聴く機会はほとんどないのではないのでしょうか？そこで今回は、様々な経験を積んでいる選手たちに取材をさせていただきました！！

金 知秀

さん スポーツ科学部 3年 柔道部

【出身地・出身校】兵庫県姫路市・高知県香長中学・兵庫県夙川学院高校

Q1：オリンピックが決まった時の気持ち

生まれ育った日本で開催されるオリンピックで韓国代表として絶対に武道館の舞台に立ちたいという思いが大きかったです。幼少期からの夢が "オリンピックで金メダル" だった為、やっとその夢を実現するためのスタートラインに立つ事ができた！とっていました。

Q2：オリンピックを終えた今

自分の目標を達成する事が出来ずに悔しいですし、応援して下さった方々の期待に応える事ができず申し訳なく思っています。しかし、この負けのおかげで3年後のパリオリンピックの舞台に必ず立ち、必ずリベンジするという気持ちが強く生まれました。そのためにもまずは怪我をしっかりと治して、柔道の基礎や体づくりからやり直したいと思っています。

Q3：山梨学院大学を選んだ理由

山梨学院は自然が豊かな場所にあり、練習環境やトレーニング環境が整っています。また、監督である山部先生の元で柔道を教わりたと思ったからです。

Q4：大学(学部)の良いところ

私は日本と韓国を往復する様な生活を繰り返していて、授業についていけない時があります。それに対してスポーツ科学部の先生方は私の状況を理解して授業外でも教えてくださり、文武両道を目指している私にとってはとてもありがたく思っています。

Q5：部活動の雰囲気

気迫と情熱に溢れています！



吉岡 詩果

さん スポーツ科学部 1年 フィギュアスケート

【出身地・出身校】千葉県 植草学園大学附属高校

Q1：競技を始めた理由

小学校一年生の冬に家族でスケートリンクに遊びに行った時、私もジャンプやスピンをやってみたいと思い始めました。

Q2：大学(学部)の良いところ

みんなそれぞれ違う競技を行っていて、今まで自分が知らなかった他の競技のことをたくさん知ることができたり、自分自身の競技に役立つことを学ぶことができる場所です。また、学業だけでなく競技に向き合う姿勢が皆真剣なところに刺激を受け、私も頑張らなくてはならないという気持ちにさせてもらえます。

Q3：部活動の雰囲気

スケート部はフィギュアスケート、スピードスケート、ショートトラックの3種目で1つの部で、私たちフィギュアは別で練習をしていますが、寮でスピードやショートの先輩方に学業や生活のことで相談にのっていただいています。練習は主に小瀬スポーツ公園にあるアイスアリーナで、毎日チームメイトと毎日励まし合いながら頑張っています。

Q4：今後の抱負

全日本選手権で上位に残り、国際大会に出場できるよう、日々の練習を大切に頑張っていきたいと思います！



提供元：古都悦郎さん

長尾 行浩

さん 経営学部 3年 陸上競技部 / 走幅跳

【出身地・出身校】埼玉県 / 埼玉県立伊奈学園総合高校

Q1：競技を始めた理由

兄に憧れて中学から陸上競技を始めました。最初は兄と同じ800mを専門種目にしようと考えていたのですが、走幅跳を専門種目に選びました。走幅跳を選んだ理由は、幼少期から縄跳びが大好きで跳躍力に自信があったからです。

Q2：山梨学院大学を選んだ理由

山梨学院大学を選んだ一番の理由は、跳躍ブロック担当の苅山先生がいたからです。また、山梨学院大学の跳躍ブロックは人数が少ないため、一人一人指導していただけることも決め手の1つでした。

Q3：大学(学部)の良いところ

気軽に先生と談笑できることです。山梨学院大学の先生方は、積極的に学生に声をかけて下さるので、あまり緊張せずにお話することができます。私は色々な先生の研究室に行って雑談することもあれば、卒業後の進路や勉強の話など真剣な話をすることもあります。

Q4：今後の抱負

今シーズンの目標は、9月の日本インカレで7m70以上を跳び入賞すること。そして、日本選手権の標準（7m80）を突破して来年度の日本選手権の出場資格を得ることです。そのためにも日々の積み重ねを大切に、悔いの無い競技人生を送ります。



松倉 唯斗

さん スポーツ科学部 4年 陸上競技部・駅伝

【出身地・出身校】宮城県 明成高校

Q1：競技を始めた理由

最初は野球と両立していましたが、市の駅伝大会に出た際に良い結果が出て陸上に打ち込むようになりました。

Q2：部活動の雰囲気

陸上競技部(長距離)はたくさんのメンバーが寮で暮らし、衣食住を共にしています。食事や練習前後の時間は学年関係なく関わりとても明るい雰囲気ですが、練習が始まると一気に引き締まるメリハリのあるチームです。

Q3：学部の良いところ

ISSやスポーツセンターなど、競技力向上のための施設が充実しています。また、講義でも栄養学やトレーニング論といった競技に必要な知識も身に付けられるところです！

Q4今後の抱負

箱根予選を通過し、本戦でシード権を獲得することが今年のチーム目標です。この目標に向けてこれからの夏合宿を通して力を付けていき、個人としても前期シーズン以上の走りができるように鍛錬していきます！



提供元：遠藤雅也さん

猪俣 莉々花

さん 経営学部 4年 女子テニス部

【出身地・出身校】千葉県・山梨学院高校

Q1：山梨学院大学を選んだ理由

9歳離れている姉が山梨学院大学のテニス部に所属をしていて、私が中学生3年生のときに大学の練習に参加させていただきました。その時にテニスをする環境が整っており、コーチや大学生の雰囲気がとてもよく、強くなるために大学に入るとしたらここでやりたいと思いました。高校から山梨に移住することで長く整った場所でテニスができると思い、山梨学院高校、山梨学院大学へと進学することにしました。

Q2：部活動の雰囲気

山梨学院大学のテニス部は、学年関係なくよく一緒にご飯を食べたり、買い物に行ったりするなど他の大学と比べて先輩後輩の仲が良いと思います。部活中はうまくいかないときは率先してアドバイスをもらいに行ったり、きつい練習やトレーニングの時はみんなで声を掛け合ったりして、一人一人が目標に向かいながらもチーム全員が一つになって取り組んでいます。

Q3：今後の抱負

8月はインカレがあり、8月の終わりから9月の半ばにかけてリーグ戦があります。去年は学生大会のほとんどが中止になってしまい、リーグ戦は時間が空いているので今後の抱負はもう一度チーム全体で勝利に対する意識を上げ、王座の舞台で戦うことです。



青野 朱李

さん スポーツ科学部 3年 陸上競技部/ 短距離(100m.200m)

【出身地・出身校】山形県 山形県立山形中央高等学校

Q1：競技を始めた理由

小学6年の時に陸上の県大会(100m)に出場し、優勝して全国大会が決まり、その練習のために中学の陸上部に混ぜてもらったことがきっかけで陸上競技を始めました。元々バスケットボールをしていて中学でも続けたかったのですが、女子バスケット部がなかったので陸上部に決めたというのも理由の一つです(笑)。今考えると陸上競技を選択して良かったと心から思います！

Q2：部活動の雰囲気

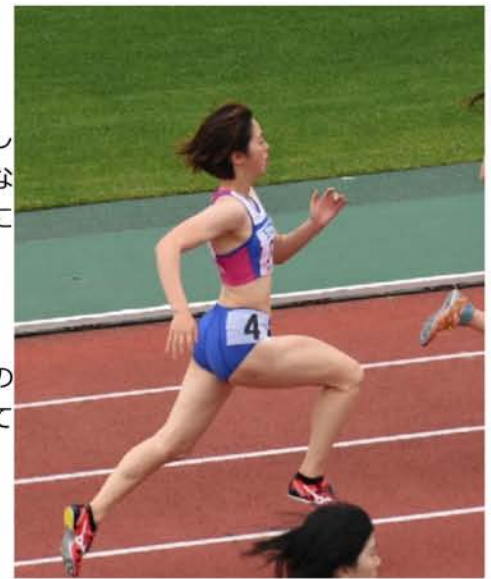
私が所属する陸上競技部は、全員がチームや個人の目標に向かって努力し、日々汗を流しています。動きを確認しながらお互いにアドバイスを言い合うことや、チーム内での声かけが積極的に行われており、切磋琢磨しながら取り組んでいます。笑顔が絶えず楽しく練習に取り組んでいるように感じますし、とても雰囲気の良いチームだと感じます！私もこの環境で毎日練習ができて幸せです！

Q3：聖火ランナーを行った感想

聖火リレーという貴重なイベントに参加させて頂くことができ本当に光栄でした。沢山の声援の中走ることが出来てとても楽しかったです！今のご時世で大変な思いをされている方も沢山いるわけですが、聖火リレーを通して沢山の人が笑顔になっていただけたら私自身も嬉しいです！

Q4：今後の抱負

私がいい走りをすることで、支えて下さっている方や応援して下さいっている方の笑顔が見たいです。そのために人一倍努力し、恩返しができるよう精一杯頑張っていきます！！



五十嵐 将矢

さん 経営学部 4年 ゴルフ部

【出身地・出身校】新潟県・新潟産業大学附属高等学校

Q1：山梨学院大学を選んだ理由

どのクラブもレベルが高く、練習環境や練習施設が迷っていた他大学よりも良かったからです。

Q2：大学(学部)の良いところ

経営学部では、経営学の事は勿論、マーケティング戦略など起業できるまでの知識が学べるところです。

Q3：部活動の雰囲気

上下関係はほとんどなく、実績のあるレギュラー選手から大学から始めた初心者までが毎日楽しく練習できています。

Q4：今後の抱負

引退の日までは全力で上を目指して頑張り、卒業してからは新たな道で自分らしく、誰かのためになれるように頑張っていきたいと思っています。



提供元：白井 陸さん

2021 クラブ紹介

★ YGUには、体育会系クラブ、文化会系クラブ、強化育成クラブと総計60のクラブが存在します。(HP調べ)
 「強化育成クラブが取り上げられがちだなあ、体育会系、文化会系も取り上げられていいじゃない!!!」と
 思い立った広報部。入りたいクラブが見つかるかも!!! 今回は4つ紹介!

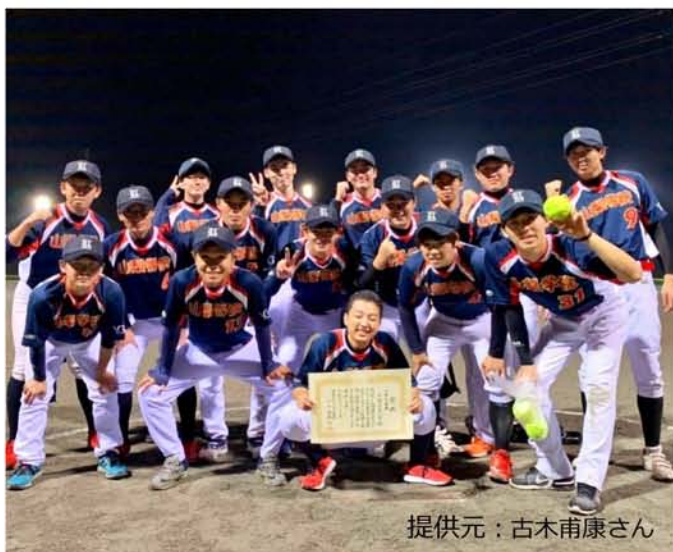
バドミントン部



★部員数	15名
★部員募集有無	有
★部活の雰囲気を表す漢字	「楽」
★活動曜日・時間	月曜日16時30分～19時30分
★活動場所	古屋記念堂



ソフトボール部



提供元：古木甫康さん



★部員数	15名(4年生含む)
★部員募集有無	絶賛募集中
★部活の雰囲気を表す漢字	「楽」
★活動曜日・時間	決まっていない
★活動場所	砂田グラウンド



提供元：古木甫康さん

弓道部



提供元：關創太さん

- ★部員数・・・21名
- ★部員募集有無・・・有
- ★部活の雰囲気を表す漢字・・・「暖」
- ★活動曜日と時間・・・全体練習は火曜と木曜の4時限が終わってから。その他は個人で自由に練習している。



少林寺拳法部

- ★部員数・・・5人
(3年生3人、1年生1人、院生1人)
- ★部員募集有無・・・有
- ★部活の雰囲気を表す漢字・・・「輪」
他大学とも練習し、輪を広げています。
- ★活動曜日と時間・・・
水曜と金曜の19:30~21:00
- ★活動場所・・・
樹徳館2階(長期休暇中は別の道場や他大学)



提供元：坂爪光さん



提供元：坂爪光さん

取り上げてほしいクラブ大募集！！(体育会系、文化会系、強化育成、どのクラブでも！)
お問い合わせ：公式Instagram @ygu_iss ダイレクトメッセージください！お待ちしております！

施設紹介

【ISS棟】

ISS 1階には、2室の講義室と2室の演習室、スポーツ生化学実習室、多目的実習室で成り立っています。また、多目的実習室では、様々な用具を用いて多様なスポーツを行うことが可能です。ラウンジでは他学年との交流があり、とても貴重な時間を過ごすことができます。



多目的実習室



ラウンジ



自習室



Instagram
ygu_iss

山梨学院大学スポーツ科学部【公式】



follow me!!!

Twitter
YGU_ISS

山梨学院大学スポーツ科学部

広報内容 募集！

InstagramやTwitterで広報してほしい情報をInstagramのDMにて、お寄せください！

(例：大会が近いから応援してほしい。部活のInstagramを広めてほしい。manabaの情報を拡散してほしい。など)

広報部部員 募集！

詳しくは、InstagramのDM or 東山先生へ

この広報誌は、私たち広報部が作成しました。YGUSポーツと一緒に盛り上げませんか？

編集後記

今回この広報誌を作成するにあたり、ISS広報部として初めてスポーツ科学部以外の方にインタビューをさせていただきました。私（樋川）はインタビュー記事を担当しましたが、依頼をした7名の方全員が快く引き受けてくださり、本当に感謝しています。これまで個人のインタビューをあまり行ってきませんでした。今回実際に行ったことでまだまだ知らないYGUスポーツの魅力が多くあると感じ、より多くの方に知ってほしいな、見てほしいなという思いが強まりました。初めての広報誌の作成で、基本がわからない状態での作成にはとても苦労しました。最近になって更にコロナが増えていたことで8月1日発行には間に合わず、発行予定を1回目から遅らせるという葛藤もありましたが、先生方や部員、写真を提供してくださった方々のご協力により、発行することができることを嬉しく思います。

最後に、ISS広報部としてこれから広報の幅を広げていきたいと考えています。是非部活動やサークル活動、イベント情報など小さな内容でも構いませんので情報をいただけると嬉しいです。最後まで読んでいただきありがとうございました。

2021年8月吉日

山梨学院大学スポーツ科学部広報部 樋川 歩実
西条 莉理子
佐藤 奨之進
牛山 怜音
芳賀 柁輝
澤田 侑児



写真提供・協力 西尾浩平さん、ユン・ヒョンジさん、古都悦郎さん、遠藤雅也さん、白井陸さん、斎藤祐輔さん、古木甫康さん、關創太さん、坂爪光さん ※クレジットのない写真はすべて山梨学院大学が著作権を有しています。